

将来像実現に向けた 取組の方向性

本市の人口は、2060（平成72）年には、11万4千人から15万1千人程度になるものと推計しており、今後も人口減少は避けられない状況となっています。本市の大きな転換期である今、この状況を市民一人ひとりが認識したうえで、自ら行動し、市民等と行政が一丸となってまちづくりに取り組む必要があります。このため、将来像の実現に向けた取組の方向性として、2つの重点プロジェクトと5つの基本目標を掲げ、体系的にまちづくりを進めます。

1 重点プロジェクト

将来像の実現に向け、優先的・重点的に取り組むべきプロジェクトとして、課題を克服するための「経済再生」と、優位性をさらに高めるための「魅力向上」に取り組みます。この2つのプロジェクトにより生み出される活力が相互に波及し、新たな活力を生む好循環のまちをめざします。



2つの重点プロジェクト

北海道新幹線開業を契機とし、北海道内自治体や新幹線沿線自治体などと連携し、新たな広域観光圏・経済圏を構築し、交流人口の拡大や、国内外への販路拡大を図るとともに、地場産品の高付加価値化に取り組む一方、学術研究機関の集積や交通の要衝である優位性を活かし、企業誘致や新産業の創出などに取り組み、地域経済の活性化を図ります。

こうした取組により、所得の向上や安定した雇用の維持・創出につながることで、地域内消費が拡大し、さらに地域経済が活発化するという好循環をつくり出します。



本市の強みである都市としてのブランド力をさらに強固なものとするため、市民等と行政が一体となって、既存の地域資源に磨きをかけるとともに、新たな魅力を発掘・創出します。また、こうした魅力を、市民生活や歴史的・文化的背景により体系づけ、発信することで、多面的な魅力を持つ新たな資源に進化させます。

こうした取組により、交流人口が拡大し、まちに活力と賑わいがあふれ、市民の誇りと愛着が増し、さらにまちの魅力が高まる好循環をつくり出します。

2 5つの基本目標

将来像の実現に向け、5つの基本目標を掲げ、市民等と行政が一体となってまちづくりに取り組みます。

〔1〕まちの賑わいを再生し未来へ引き継ぎます

人口が減少しても、かつてのまちの賑わいをもう一度取り戻すためには、地域経済を再生しなければなりません。

そのためには、北海道新幹線開業効果を持続させ、国内外の観光客やビジネス客など交流人口を拡大し、その経済効果を各産業へ波及させる取組を進めます。

また、新幹線開業により新たに形成される広域観光圏・経済圏を活かし、地場産業の強化を図ります。さらに、農林水産物など地場産品の地域での利用促進と高付加価値化に取り組みます。

このほか、学術研究機関が集積している強みを活かし、産学官金連携による地域産業の活性化を図るほか、高等教育機関が持つ教育・研究機能をさらに充実させ、魅力向上に取り組みます。

こうした取組を通して、まちの賑わいを再生し、未来へ引き継ぎます。



〔2〕子ども・若者を育み希望を未来へつなぎます

子どもや若者は、地域の未来を築く大切な宝物であり、地域社会全体で育み、支えていかなければなりません。

子どもを生み育てたいと願う多くの市民の希望をかなえるため、妊娠・出産・子育ての不安を解消し、地域ぐるみで安心して子どもを生み育てることができる環境を整備します。

また、子どもや若者が未来へ希望を持ち、その希望がかなえられるように、確かな学力を身につけ、創造性豊かで心身ともにたくましく生きる子どもの教育環境を整備するとともに、若者への支援に努めます。

こうした取組を通して、子ども・若者を育み、希望を未来へつなぎます。



〔3〕いつまでも生き生きと暮らせる まちをめざします

子どもから高齢者まで、また、性別や障がいの有無にかかわらず、誰もが生涯にわたって活躍し、健康で安心して暮らせる地域社会を構築していかなければなりません。

こうしたことから、セーフティーネットとしての公的福祉サービスの維持に努めるとともに、市民一人ひとりが地域社会の担い手となり、ともに支えあうことができる地域コミュニティの形成をめざします。また、医療や生活衛生、消防・救急体制や交通安全など、安全に暮らせる市民生活を確保するとともに、安定した雇用の維持・創出に取り組むほか、生涯学習やスポーツ活動などを通して、心身ともに健康で生きがいをもって暮らせるまちとなるよう努めます。

こうした取組を通して、いつまでも生き生きと暮らせるまちをめざします。



〔4〕日本一魅力的なまち函館を 次世代へ継承します

先人たちが長い年月をかけ築き上げてきた本市が持つ多様な魅力をさらに磨き上げ、美しく住み良いまちづくりを進めていかなければなりません。

このため、魅力ある景観や町並み、市街地の形成に取り組むとともに、魅力の源泉である郷土の歴史を継承し文化の振興を図ります。

また、北海道新幹線開業や国際定期航空路線の拡充により繋がった国内外の地域との交流を深め、函館の魅力を内外に発信するとともに、陸・海・空の交通網をさらに充実します。

こうした取組を通して、日本一魅力的なまち函館を次世代へ継承します。



〔5〕持続可能な都市の基盤を構築します

人口が減少しても、日常生活に必要なサービスの低下をできる限り抑制し、市民生活の利便性を維持するため、行政は、効率的かつ効果的な行政運営を推進し、市民等は、地域のために自らが行動しなければなりません。

こうした状況を踏まえ、市民生活の利便性と都市経営との調和を図り、長期的な視点で、生活道路や上下水道といった社会基盤施設の機能維持、公共交通の再編、自然環境の保全などに取り組むとともに、突然襲ってくる自然災害から生命や財産を守り災害によるリスクを可能な限り軽減するよう防災対策を充実します。

こうした取組を通して、持続可能な都市の基盤を構築します。



北のクロスロード HAKODATE

～ともに始める 未来を拓く～

2つの
重点プロジェクト

5つの
基本目標

20の施策

経済再生プロジェクト

魅力向上プロジェクト

1 まちの賑わいを再生し
未来へ引き継ぎます

2 子ども・若者を育み
希望を未来へつなぎます

3 いつまでも生き生きと暮らせる
まちをめざします

4 日本一魅力的なまち函館を
次世代へ継承します

5 持続可能な都市の基盤を
構築します

- ① 観光・コンベンションの振興
- ② 農林水産業の振興
- ③ 商工業の振興
- ④ 新産業の創出と企業立地の促進
- ⑤ 学術研究機能の充実

- ⑥ 子ども・子育て支援の充実
- ⑦ 学校教育・高等教育の充実
- ⑧ 若者への支援の充実

- ⑨ 暮らしを支える福祉の充実
- ⑩ 生きがいがづくり・健康づくりの推進
- ⑪ 安全に暮らせる市民生活の確保
- ⑫ 安定した雇用の維持・創出

- ⑬ 魅力ある景観・町並み・市街地の形成
- ⑭ 文化芸術の振興と歴史の継承
- ⑮ 国際化と地域間交流の推進
- ⑯ 陸・海・空の交通網の充実

- ⑰ 社会基盤施設の機能維持
- ⑱ 公共交通の再編
- ⑲ 防災対策の充実
- ⑳ 環境保全の推進

